

1. 合併成功は互いの理解から

- ・それぞれの地域の抱える課題を互いに理解し合い、力を合わせて解決し、それぞれの地域が発展してこそ、市全体が発展します。
- ・周辺の中山間地の課題は、人口減少を食い止めることです。
森の合板工場、光ファイバー網（市の負担約14億円）、UIターン住宅など実施。
- ・まちなかの課題は、賑わいづくりです。
六斎市、新図書館（市の負担4.7億円）など実施。

2. 新図書館はまちの賑わいづくりの一環での取り組み

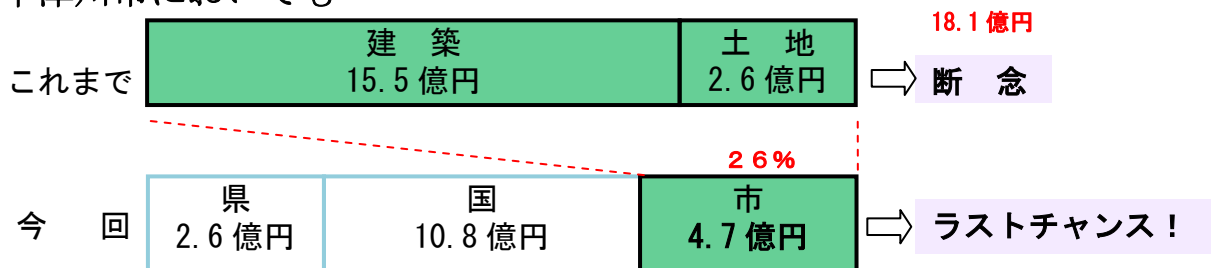
- ・一期目 「中心市街地活性化のため公共複合施設等をつくり、公約 賑わいを呼び戻す」
- ・二期目 「中心市街地活性化基本計画を推進し、まちに賑わいを呼び戻す」
- ・旧ユニー跡地開発は商店街の強い要望でしたが、市外の開発業者が所有しました。
- ・(株)新町開発（企業有志と商店街有志）が取得し、複合ビルを計画しました。その複合ビル計画を含む「中心市街地活性化基本計画」を国が認定（H20・6）。
- ・商店街からの要請を受け、複合ビル1，2階に公共施設を市民参加で検討しました。その検討過程で根強い図書館要望がありましたが、市が検討に時間を要したため、(株)新町開発は計画どおり進めることが困難になりました。（H21・6）

- ・一方で、「中心市街地活性化基本計画」に位置づけた図書館には国が交付金を出すとの制度変更の通知があり、さらに、経済対策の交付金で土地を購入できることが確認できました。(H21・6)
- ・この制度変更により割安に図書館が整備できることとなったため、中心市街地活性化に取り組んでいる全国 105 都市のうち、2年半の短期間に20都市が図書館整備に取り組んでいます。

(近くでは岐阜市が60億円、甲府市53億円、藤枝市45億円、塩尻市35億円で整備。)

(塩尻市では体育館計画は見直し中ですが、図書館は平成22年整備済)

- ・中津川市においても



「株新町開発が市に土地の購入を働きかけ、もうけた」との声がありますが、

事実 は

- ・図書館に国の交付金などが活用でき、割安で整備できることが確認できたため、ユニー跡地に図書館を整備することを決意し、市が株新町開発に対し土地の購入を申し込みました。
- ・市は鑑定評価額(2億5千9百万円)で購入しており、株新町開発は3千百万円損しています。

3. 新図書館にかかわる諸事実

①「新図書館建設で財政が悪化し、第二の夕張になる」との声がありますが、

事実 は

- ・5つの財政健全化基本方針に従って事業を実施しながら、合併時1,107億円あった借金を6年間で193億円減らしてきました。
- ・予算に占める借金返済比率も減ってきており、新図書館も財政健全化基本方針に従って整備するので、財政は大丈夫です。

②「新図書館はまちなかの人しか使えない」との声がありますが

事実 は

- ・郷土資料も増やし、各地の公民館図書室を充実する考えであり、モデル的に付知の公民館図書室を充実しました。引き続き、加子母でも充実します。
- ・公民館図書室には中央図書館から配本サービスを開始しており、市内どこでも中央図書館の本を読むことができます。

③「新図書館にお金をつぎ込むから、市民病院にお金が回らなくなって、医師が減った」との声がありますが

事実 は

- ・図書館建設を目的にした交付金や借金は病院には回せません。
- ・病院の医師・看護師確保には年間1億5千万円以上の予算をしっかりと確保しています。
- ・総務省基準内で、市民病院には年間8億円、坂下病院には4億円を投入しています。
- ・医師の派遣は大学医学部の医局人事で決まるもので、お金をかければ来てもらえるものではありません。
- ・公立病院の医師数は 中津川市は東濃で第1位です。
中津川市民…44 市立 恵那…14 土岐市民総合…42
国保 坂下…14 国保上矢作… 3 市立 多治見…19

④「維持管理費が高い」との声がありますが

事実 は

- ・太陽光発電、LED照明などで施設管理費を抑え、その分図書購入費は三倍に増やしても、年間施設管理費は7千万円(現在より3千5百万円増)と算定しました。
- ・この施設管理費増分は、職員が頑張ってくれた成果である人件費の減少分16億円で十分吸収できます。職員の頑張りには感謝しています。
- ・今後も行政改革に取り組み、図書館職員の増加も現在の842人の体制のなかで十分やりくりできます。

⑤「新図書館には大多数の市民が反対。現在の図書館でいい」との声がありますが

事実 は

- ・図書館は、未来を担う子どもたちの知識を増やし、考える力を育み、豊かな心を養います。
- ・現在の中央図書館は、老朽化し、狭く、市民一人あたりの蔵書数および貸出数、15歳以下の市民一人あたりの児童書数は、いずれも東濃5市で最下位です。「文化のまち中津川」と呼ぶにはあまりにも貧弱です。
- ・新図書館を望む根強い市民要望があります

S63 新図書館建設の請願	6,016名
H21 建設推進 市民署名	3,005名
(ちなみに、新政会アンケートで 反対回答	5,357名)
ワイコイン募金783名を含む寄付金	合計 1,200万円

⑥「図書館よりも福祉を充実すべき」との声がありますが

事実 は

- ・福祉関連予算は、昨年に比べ17%増額し、一般会計予算の約3割としっかりと確保しています
- ・県下トップクラスの高齢者福祉の取り組み例は
在宅介護支援センター13ヶ所は県下1位、通院支援車両台数県下1位、ひとり暮らしの高齢者緊急ボタン設置数県下3位、市独自でいち早く「認知症まもりのわ」事業を実施。
- ・県下トップクラスの障がい者の暮らし支援の取り組み例は
生活支援の自己負担無料化、医療費無料化の対象範囲拡大。
- ・その他に子どもの医療費無料化やインフルエンザ予防助成を実施。

⑦「東日本大震災復興のため図書館建設の補助金を辞退すべき」との声があります

事実 は

- ・国は震災復興に充てる予算は別の枠組みで対応するとし、中心市街地活性化など、震災前から直面している課題にはしっかりと取り組んでいく方針を示しています。

⑧「9割の市民が反対している新図書館を議会では止められない。議会にチェック機能がないから市長をリコールし新図書館を止める」との声があります

事実 は

- ・都合9回にわたり議決が行われ、それに基づき、新図書館建設市民協議会（市民委員18名）から提言をいただき、全国37社の設計会社からプロポーザル技術提案書を提出していただき、全国21名の応募者から新図書館長を選考し、ワイコイン募金783名を含む寄付金1,200万円を受ける、など、議決と云う民主主義のルールにのっとり、世間を巻き込み手続きを進めてきました。
- ・とりわけ新図書館が争点で新たに選ばれた市会議員で構成された6月議会では「新図書館建設に関する予算執行の凍結を求める決議」は否決されています。

市民のみなさんに考えていただきたいこと は

- ・9割の市民の皆さんが反対していて、
なぜ議会では新図書館推進で議決されるのでしょうか？
- ・議会は市の最高意思決定機関すなわち市民の皆さんの代表である議員の皆さんが、市の進むべき方向を決めるところです。
- ・その決定である議決に従わなくて、議会の存在意義はあるのでしょうか？
世の中は成り立つのでしょうか？

